

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讚法要

淨土真宗本願寺派 廣谷山

正宗寺

開基500年記念法要
2023(令和5)年10月8日(日)

玉栄寺 住職坊守挨拶

この度、当山は皆様の愛山護法のご懇念に支えられ開基500年という大きな節目を迎えることが出来ました。この長い歴史の中、幾たびもの災害や飢饉による存続の危機を、先人達はお念佛を支えに、皆で励まし合いながら乗り越え、護ってされました。そのご苦労（ご恩）は果てしなく、今まで玉栄寺を護り、護寺発展にご協力頂いている門信徒はじめ、玉栄寺有縁の方々には感謝しきれない有難い想いで一杯です。



また期せずして、同年に親鸞聖人御誕生850年・浄土真宗開宗800年のご勝縁を迎えます。親鸞聖人のお説きくださった浄土真宗の教えに出遇うことがなければ、今の私はあり得ません。聖人への感謝と、その教えに出遇えたことへの喜びを込めて、慶讚法要を開基500年記念法要とともに厳修致します。

昨今はコロナウイルス感染、災害、戦争と不安が尽きない世の中です。しかし、混沌とした不安な時代だからこそ、500年の歴史の中でもそうであったように、揺るがない心の拠り所となるお寺、笑顔とお念佛があふれるお寺を目指し、門信徒の皆さんと共にお念佛の道を歩んで参る所存でございます。

そして、寺族と門信徒の皆さまが一丸となり、笑顔の連鎖、喜びの連鎖を起こし、この伝統ある玉栄寺の更なる繁栄を、次世代へ永代に繋げられるよう日々精進して参りますので、今後ともご教導の程よろしくお願い致します。

本日は、ようこそお参りくださいました。合掌

第16世 住職 中島 至
坊守 祐子



総代挨拶

この度、玉栄寺は開基500年を迎えることが出来ました。歴代のご住職・坊守をはじめ、先達のご門徒の皆さまのご尽力、ご苦労に心からの敬意と感謝を申しあげます。信長、秀吉らが生まれる前の戦国の時代に開基、江戸中期には火災を破り中島の地に移築。明治以降も幾多の戦乱のなか脈々と守り継がれたこと、ご先祖の皆さまのご苦労いかばかりかと拝察いたします。

これからも玉栄寺は、何時もそばに居てくださる阿弥陀さまのもと、住職・坊守、門信徒の皆さんとともに先達の志を受け継ぎ、護持・発展に努めて参ります。そして、地域のなかでキラリと光輝くお寺をめざして精進してゆく所存です。何卒よろしくお願い申しあげます。

玉栄寺 門信徒会会長 久家英明



〔玉栄寺 沿革〕

当山は浄土真宗本願寺派廣谷山と称し筑前国怡土郡長野村字廣谷に1523(大永3)年に建立したものである。本願寺第9世実如上人の弟子、崇仙師が開基し、延宝の頃(1673~81年)に火災によって古文書、寺宝などが焼失したものの、本尊の阿弥陀如来像(聖徳太子の御作であると言われている)は危うく難をのがれ、現在地(糸島市長野1255)に再建された。

また、江戸中期(1700~1745年)頃、藩命により東本願寺派へ一時転派したが、1759(寶暦9)年に本派に復した。尚、当山第15世住職は本願寺総長の重責を務められた渡辺静波師であり日本佛教界の重鎮として知られている。現在16世住職がその歴史と法灯を受け継いでおり、門信徒と共にお念佛の道場として500年にわたり護持されている。

〔玉栄寺 歴代住職〕

開基	崇仙	第10世	忍鑑
第2世	尊了	第11世	諦忍
第3世	宗順	第12世	真道
第4世	嶺陰	第13世	城宗
第5世	廓翁	第14世	慶昭
第6世	寂門	第15世	静波
第7世	智嚴	第16世	至心
第8世	慧顥		
第9世	法忍		



第16世 中島 至 プロフィール

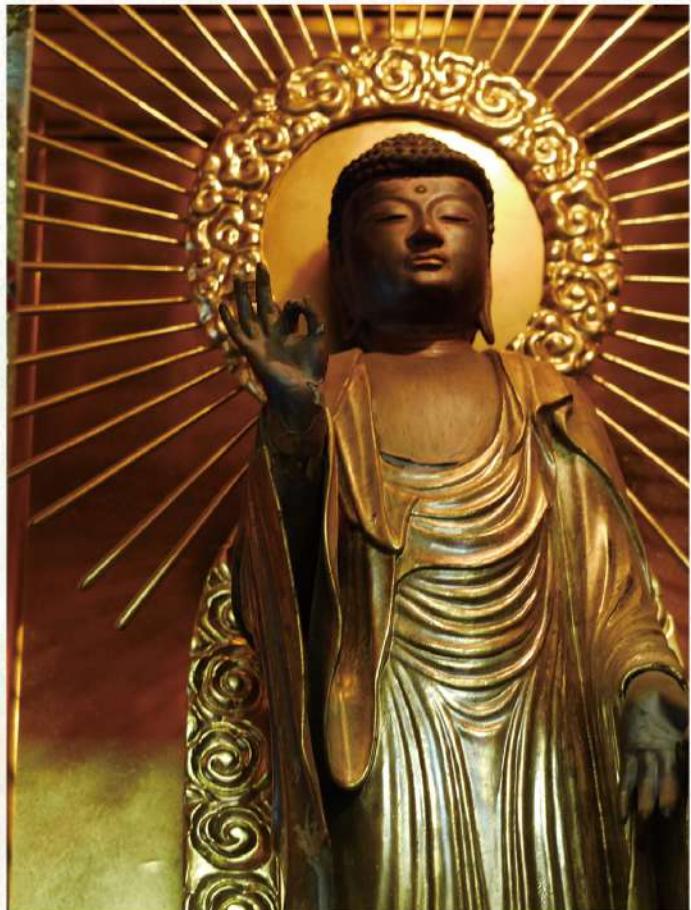
浄土真宗本願寺派布教使/福岡刑務所・拘置所教誨師/トークデザイナー代表

1979(昭和54)年福岡県志免町 藤円寺に生まれる。大学卒業後IT企業へ就職するも、理想と現実のギャップに悩み同年退職。翌年、浄土真宗本願寺派で得度を受け、数年後には布教使を取得。2007(平成19)年、玉栄寺住職となり「一人ひとりの気持ちに少しでも寄り添うことのできる僧侶でありたい」と、ご縁ある方との触れ合いを大切に、僧侶の勤めに精進している。

東日本大震災を契機に2011(平成23)年からチャリティーイベントを毎年開催。集まった募金を、東日本をはじめとする様々な災害の被災地へ届けている。2020(令和2)年「トークを楽しみ、人生を楽しむ人のお手伝いをする」をコンセプトに、トークデザインを立ちあげる。またコロナ禍で生まれた町おこしプロジェクト「たていと・ヨコイト・長糸」を仲間たちと立ちあげる。

開基500年の歴史

■ 阿弥陀如来像
聖徳太子の御作であると伝えられている



■ 蓮如上人 御影像
1681(延宝9)年 本願寺より下付された

■ 本願寺派-御門主-御文章
■ 東本願寺派-御法主-御文

支 真宗念佛行者ノナニラビテ
法義ニツイテソノコヨエナキ次第己
オホニニ花アヒタ大樹ソラモキラ
アラハニラハリス 所詮 自今已後ハ
感ノ行者ハコノコトカラモテ本トス
乞ニミツイテフタツコロアリ一云
自身ノ種星スナニラブアツ治定ス合

釋真如



■ 聖徳太子 七高僧
御影像 1765(明和2)年
第17代法如上人より下付された

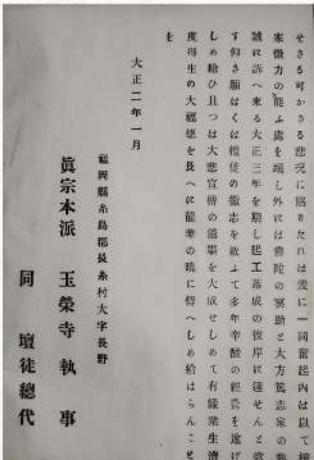
江戸中期 藩命により東本願寺派へ転派した時に、第17代 真如(在職1700年~44年)法主から下付された御文

■ 親鸞聖人御影像
1785(天明5)年
第十七代法如上人より下付された

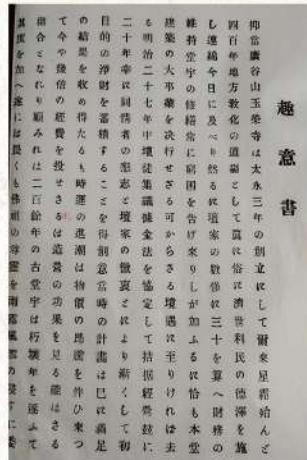


■ 本堂改修記録帳 1913(大正2)年

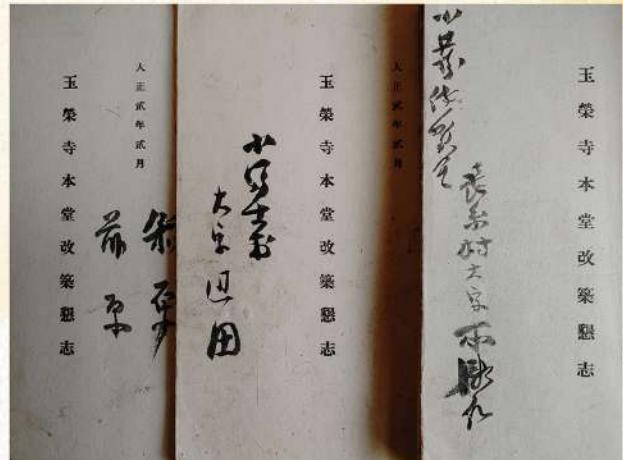
[趣意書 2]



[趣意書 1]



[懇志帳]



玉榮寺本堂改築懇志



■ 本堂改修の時に作られた襖絵 1914(大正3)年

梵鐘

玉栄寺の梵鐘は1883(明治16)年(第10世忍鎧)に迎えられました。しかし、戦争が始まると金属回収令が出され、悲しいことに、1942(昭和17)年10月21日梵鐘は供出され鉄砲玉へと変わっていきました。終戦後、1949(昭和24)年、戦没者の名前が刻まれた新梵鐘が京都で作られ、船で加布里漁港に渡り、馬車に引かれこの土地までやってきました。550キロあるこの梵鐘は、お慈悲の鐘として復元されました。



■1942(昭和17)年
梵鐘・仏具供出
最後の一聲を聞いてください



■1949(昭和24)年1月
新梵鐘 京都から船で
糸島加布里漁港に渡り、
そこから馬車で運ばれた



■1949(昭和24)年4月3日
梵鐘式
新梵鐘は戦没者の名前が入り、
慈悲の鐘として復元された



■1951(昭和26)年
新梵鐘 稚児法要

1960(昭和35)年 第23代 勝如上人 ご巡教



長野会館



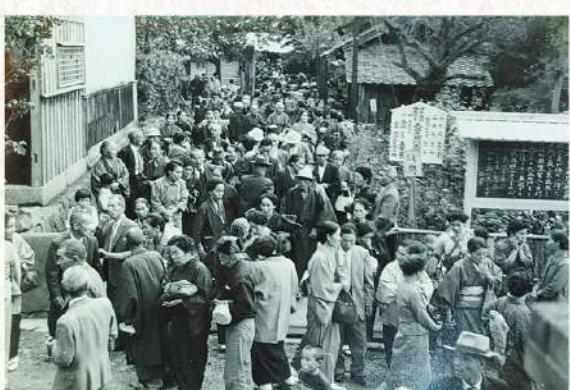
境内



法要



帰敬式



賑わう境内



記念撮影

『親鸞聖人700回大遠忌法要』

1981年
(昭和56)

法要の準備



お華束



仏具磨き



仏華



境内準備

一：お斎

日程表	
法要行事日程表	
6時	489
7時	20時
8時	55分
9時	
10時	10時
11時	
12時	12時
13時	0時
14時	20時
15時	
16時	30時
17時	15時
18時	20時
19時	15時
20時	30時



日程表

法要



受付



司会



賑わう境内



佛教讃歌



献灯



献灯



稚児行列



法要記念撮影



稚児行列境内

稚児記念撮影



1995(平成7)年
門徒会館新築に向けて



門徒会館

1996(平成8)年4月21日
門徒会館起工式



門徒起工式

2004(平成16)年
第15世 渡辺静波住職 ご往生



平成16年7月 門徒葬儀

2007年
(平成19)6月

第16世 住職坊守 中島至・祐子 入寺
幅広い年齢層を対象に、ご縁づくりを意欲的に行う



落語



芸



子ども会



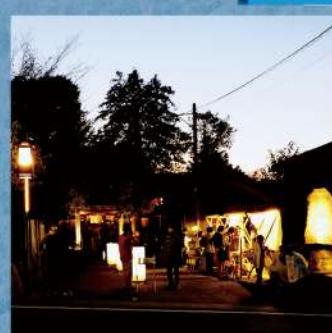
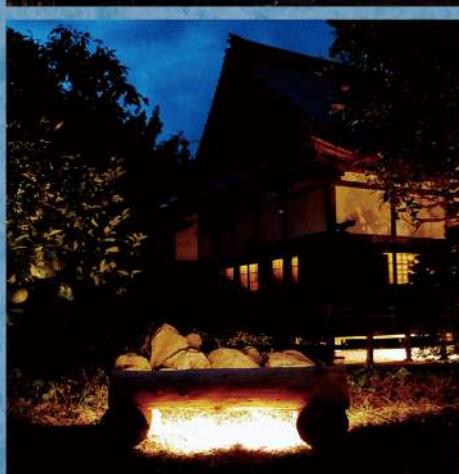
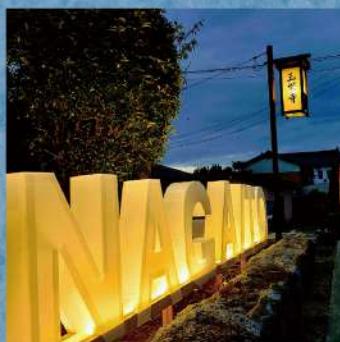
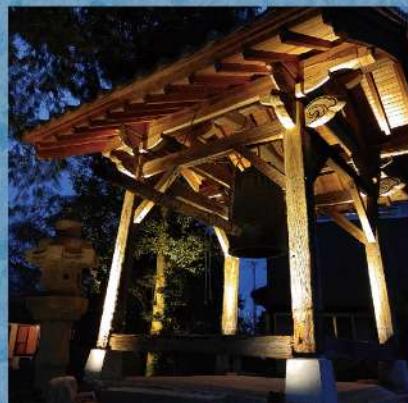
お斎

親鸞聖人750回大遠忌法要
第16世住職・坊守・繼職奉告法要
2013(平成25)年10月27日(日)



仏照慈夜

BUSSHOUJIYA
10th ANNIVERSARY
CHARITY EVENT
2021.10.02



2021(令和3)年 チャリティーイベント仏照慈会10周年

国際照明デザイナーによる、お寺と自然に寄り添った温かみのあるイルミネーションが、境内マルシェや憩いスペースを包み込みました。普段とは一転、幻想的な光の国でタテタカコさんの透き通った歌声に癒され、心地良い空間を皆さまで創り出してくださいました。最後に住職から「私の生き方が他の幸せに繋がるような生き方をしていきたい」と法話があり、参拝者(約600名)からお念佛の声が湧き出てきました。10年間の累計義援金額は1,403,221円になりました。

1883(明治16)年に建てられた鐘撞堂は、
何度も修復工事を行い守ってきましたが老朽化し、
2022(令和4)年鐘楼遷座法要を行い解体致しました。

2022年
(令和4)



鐘楼遷座法要



現在は
本堂北側に
保管して
おります。

こころのよりどころ



2020(令和2)年、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により全国各地の寺院が法要を中止しました。混乱が続く不安な状況の中、こんな時だからこそ玉栄寺は心の拠り所であり続けたい、という想いから、個人参拝（家族毎にお勤め、法話をする）という形をとり、永代経法要をはじめとする全ての法要を厳修しました。

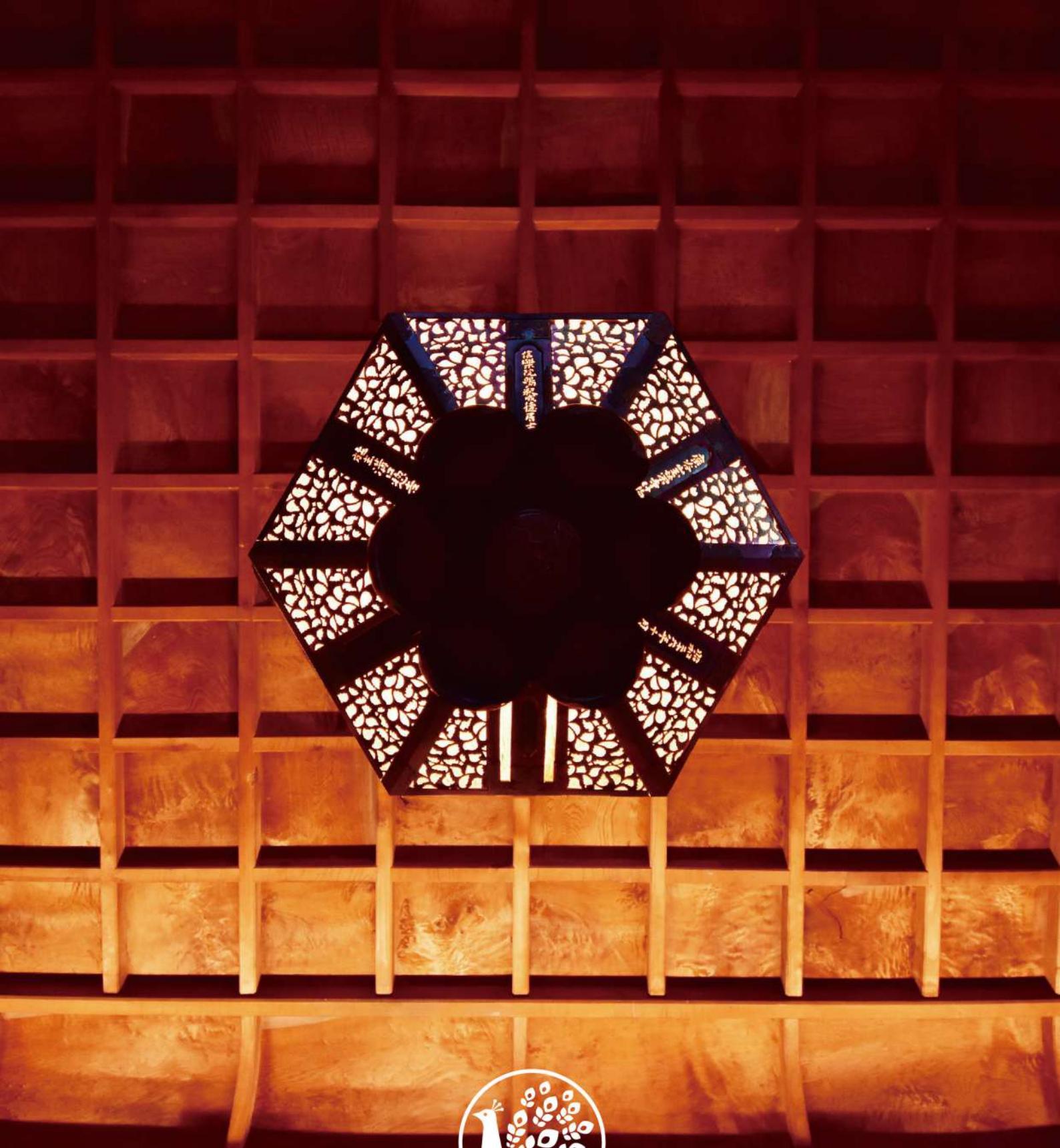


玉栄寺 思い出記録帳

阿弥陀さまはいつでもご一緒です







玉栄寺

福岡県糸島市長野1255
092-324-0090